



市民協働による公共交通の活性化について

ライトレール沿線における地域住民参加型イベントの提案



平成19年 2月27日

富山市青年元気塾 ライトレールにのってみ隊グループ

大澤伸一 角間崇博 高野由紀子
政二亮介 松本哲哉 山谷有樹



富山ライトレール富山港線

地域に密着した安全・安心・快適で環境にやさしい公共交通として

平成18年4月29日開業

<安心> : バリアフリーの低床車両を導入。

<快適> : サービスレベルの向上。

<環境> : 環境にやさしい乗り物です。

<地域> : 市民の皆様に愛される鉄道を目指します。

(富山ライトレール株式会社HPより)





ライトレール効果

低迷し続けていた旧JR富山港線がライトレール化によって見事に復活
全国に先駆けてライトレール導入を果たした富山市に各地からの視察が殺到！

公共交通の活性化だけでなく、鉄軌道による地域活性にも

- ◆ 移動はもっぱら自家用車であった人がライトレールを利用
- ◆ 外出をためらいがちであったお年寄りの方がライトレールを利用
- ◆ ライトレール沿線の居住率がアップ
- ◆ 新たな地域観光のアピール(岩瀬地区を中心にして)
- ◆ 市内軌道線(市電)や万葉線の乗車率がアップ
- ◆ 富山市が世界的に有名になった。





ライトレールに関連した活動

◆ 城川原駅～岩瀬浜駅

ライトレール沿線をお花畑にしよう！



◆ 東岩瀬駅(駅舎改修)

観光案内所や地域住民のコミュニティの場にしよう！

◆ 岩瀬地区

地域観光の案内ボランティア活動



◆ 富山市青年元気塾

ライトレールにのってみ隊も活動開始！





主なライトレール沿線イベント

- 平成18年4月29日 (ライトレール開業日)
ポートラムデビューフェスタ
駅北ムーブ2006春
とやま昆布まつり
- 5月17、18日 岩瀬曳山車祭
- 8月27日 岩瀬白えび祭り
- 10月8日 富山の味覚市
駅北ムーブ2006秋
運河まつり2006
- 10月21、22日 まるごと富山・岩瀬
- 11月9日 (ライトレール開業から195日目)
ライトレール100万人達成記念セレモニー



ライトレールの乗車人数

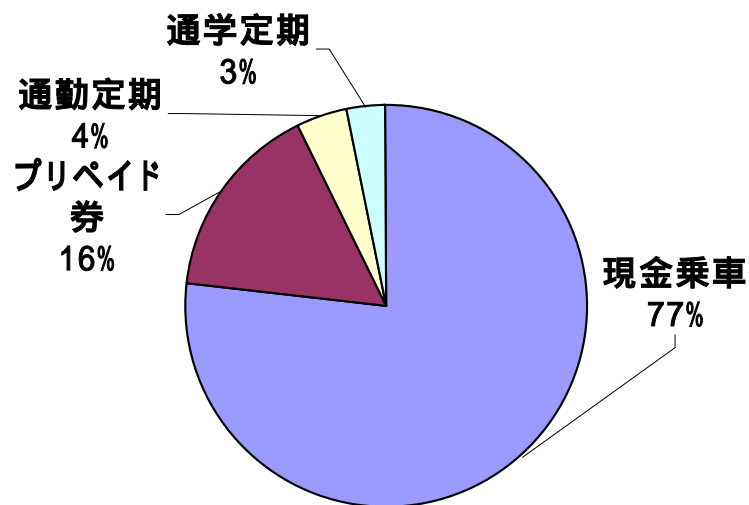
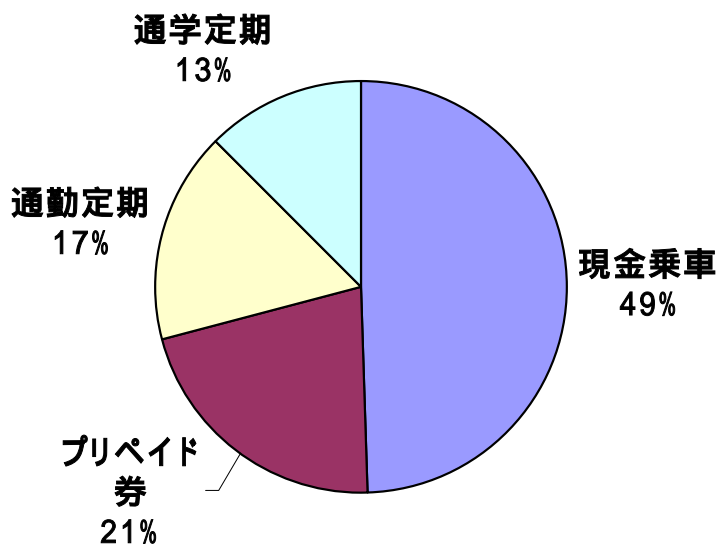
■ 総利用者数

1,245,240人 (平成18年4月29日～12月31日の247日間)

支払い別利用者数(1日平均)

平日 4,900人/日

休日 5,336人/日



(富山市都市整備部交通政策課資料より)





ライトレールの収益性

- 平成18年度中間決算は、約2,600万円の黒字！

当初、富山ライトレールでは1日当たりの乗客目安を3,400人と設定。
開業後10年間は、**年2,000～3,000万円の赤字**が見込まれると予想。
収支バランスを取るには利用者が5,000人を上回る必要がある^注。

今後も5,000人乗車を維持することができるのか？

注；富山港線路面電車化検討委による試算



富山ライトレール株式会社へのインタビュー

常に注目を集める企画づくりを心がけている。

- ◆ ポートラムによるイベント
 - ・クリスマス・ポートラム
 - ・バレンタイン・ポートラブ
- ◆ ライトレールのブランド戦略
 - ・イメージキャラクターとれねこの活用
 - ・グッズの企画販売
- ◆ ICカード乗車券(パスカ)の活用
 - ・沿線飲食店でのパスカ提示による割引サービス
 - ・合格祈願パスカの無料配布



もっと、ライトレールを使って富山らしい(個性的な)ものを出せるような持続性のあるイベントを創り出したい。





イベントによる地域活性

イベントを通して多くの地域住民を巻き込み、協力してもらうことで地元を元気にしたい。

イベント実施には、どうしても地域住民の協力が不可欠である。

ちなみに

ライトレール開業時には、沿線各駅でイベントが行われた。

沿線の自治振興会や住民による神輿(みこし)、獅子舞、郷土芸能など

これをヒントにして、沿線イベントを創出できないか？





新しいタイプのイベント創出に向けて

ライトレールの活性化に合わせて沿線の活性化もはかることを目的としてそれぞれの駅で個性的なイベントを実施する。

各駅ごとのマルチイベントとする。

地元住民参加型イベント

イベントに積極的に参加することで自分たちの駅に愛着をもってもらおう。
これによって、地域活性に結び付けようと考えた。





沿線イベントの候補地として

各駅毎のイベントを一斉に行うことは難しい。

まずはモデルとなる駅を選定！

広場として整備されているのは、以下の3駅(ライトレール各駅の広場面積)

- 岩瀬浜駅前広場(1800m²)
- 蓮町駅前広場(600m²・東側のみ)
- 奥田中学校前(700m²)

その他の駅は、電停までの通路を舗装しただけで「駅前広場」ではない。

これらの中でも奥田中学校前駅は軌道と鉄道の変わり目となる特徴ある駅であり、広場の面積も比較的広いことから、

奥田中学校前駅がふさわしいと判断した。



奥田中学校前駅広場



軌道と鉄道の変わり目





奥田中学校前駅でのイベント案

- ◆ 地元のお祭りやライトレールイベントのタイアップ
- ◆ 駅前広場でのフリーマーケット
- ◆ 地元中学校の演奏発表や小学校の学習発表の場
- ◆ 駅前広場を利用した移動販売
- ◆ ライトレール探検隊(奥田中学校前駅周辺を探索する)
- ◆ 駅前広場ギャラリーの設置





イベント実施の問題点

- ◆ 地元のお祭りをライトレールイベントに合わせる。
お祭りは神事であり、お祭りの日程にも意味がある。
- ◆ 駅前広場でのフリーマーケットや演奏発表会
小、中、高校などの課外活動で行うとしても教育機関との連携が難しい。
- ◆ 駅前広場を利用した新規のイベント
新たなイベントを実施するには、費用がかかる。
また、その費用の負担をめぐってトラブルになりやすい。



地元住民の自主性が不可欠！





住民参加型イベントの具体化案

継続的なイベントとするために 年2回は必要

地元の人に刺激を与えるきっかけづくり

ライトレールイベントや富山市主催イベントにタイアップしてはどうか？

■ 春のイベント

ライトレール開業記念イベント(4月29日)

自主的に神輿をかつぎ、にぎわいを創出することで人が集まる。

■ 秋のイベント

富山駅北周辺で行われている運河まつりに合わせて来場者にもう少し足をのばしてもらおう。駅前広場を文化芸術の秋で演出。



乗車率と地元住民のやる気を向上



沿線の環境整備 = 美化運動に！

- ◆ ライトレール駅前広場への花壇、プランターなどの設置
年中楽しめるように、多種多様な花を植える。
- ◆ ライトアップやイルミネーションで駅を美しく飾る。
暗く寒そうな雰囲気のある駅周辺を明るく暖かく見せる。

しかし、維持費用がかかってしまう！

そこで もっと身近なことから取り組んでみてはどうか？

- ◆ 駅周辺の清掃活動
日常的にお掃除ポイントを貯めて無料乗車券と交換する。

自分たちの駅に愛着をもってもらえれば、

マイレール意識の向上にもつながる！





さらなる提案（おまけ）

何気ない会話の中に大きなヒントが隠れていることが多い！

- ライトレールを支援するスポンサー企業を増やす
- ライトレールマラソン、ライトレール駅伝（ライトレールと走ろう！）
- ライトレールブランドの新たな開発（ライトレール株式会社による認定制とする）
- ライトレール焼きとポートルム焼き（ライバル品を同時認定し、競争させる）
- ライトレール飲料（7色あるとなお良い、ジュース、アルコール、健康ドリンク）
- ライトレールのど自慢大会（優勝者の歌声はライトレール車内に流れる）
- オリジナル戦隊ヒーローを作る（ライトレール戦隊）
- ライトレールお絵かき大会、ライトレール塗り絵大会
- 路面電車を持つ都市との物産交流展
函館、広島、松山、長崎など、今後LRT化を検討している都市なども候補とする。
- メディア（新聞、テレビ、インターネット等）の活用
ネット上に応援サイトを立ち上げ、活性化案の全国公募を行う。
とれねこブログ日記を作って、イベント告知や情報提供の場として活用する。



ライトレールを富山の財産に！

「マイレール意識」が公共交通を活性化させる
= 地元の活性化にもつながる

クルマ社会と言われている富山の現状

クルマも財産であるが、ライトレールも財産として育むことが必要！

北陸新幹線の開業に向けて
さらなるステップアップ！

- 市内軌道線への乗り入れ(南北一体化)
- 富山地方鉄道線(上滝線)への乗り入れ
- 高山線の利便性向上など



富山駅北口交通広場イメージ

(富山市 都市整備部 路面電車推進室資料より)





ありがとうございました。
